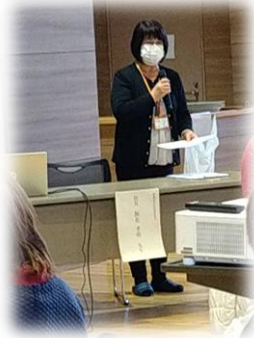


菜の花満開の南伊豆町にお邪魔しました。



2月8日(日)に、南^{なんず}豆のケアをつなぐ会(代表:社会福祉法人
梓友会 みくらの里 看護課兼介護課課長 鈴木雅世代さん)と
南伊豆町地域包括支援センター、賀茂地区在宅医療・介護連携
推進支援セ
ンターが手を
つないで、地
域住民の皆

さんに向けて「みんなで考える人生会
議」を開催しました。

町内でボランティア活動をされている
方々34名が集まってくれました。



講師の医療法人孝真会 飯島医院の飯

島孝明先生から、人生終盤をどう過ごしたいか?「ACP 人生会議について」の講義を頂いた
後に在宅、施設での看取り事例紹介、南伊豆町版エンディングノートや静岡県医師会が作成
して現在普及活動中の愛称:シズみんシートの説明を聴いて、「自分だったら最期の時をどう
過ごしたい?そのためにできること」をみんなでざっくばらんに話しました。「私は健康だから
死ぬ気がしないだよ」「こういうことを支度しておくことが必要だね」「ノートに書いてこどもに
残しておくね、写真(遺影)は決めてあるけど、それだけじゃだめだね」「話し合いのタイミング
が難しそう・・・」「嫁の立場でお姑さんに言いにくいかも・・・」と、自由に、しかも、深刻になら
ず、笑顔の時間でした。

この先も、自分らしく生きるために、どんな風に暮らしたい
か、を考える貴重な機会になりました。

皆さまありがとうございました。

満開の菜の花のように、とても元気な参加者の皆さんの
生き方そのものが今後も続いて欲しいと思いつつ、伊豆急
線で帰路につきました。(途中から雪でした・・・)

* 写真は許可を得て掲載しています。

